



2023 年度（運用期間）

環境経営レポート

株式会社 YMG ソリューション

発行日 : 2024 年 11 月 1 日

対象期間 : 2024 年 6 月～2024 年 8 月

CONTENTS

1. ごあいさつ	P1
2. 会社概要	P2
3. 環境経営方針	P3
4. 組織図	P4
5. 環境経営目標と実績	P5
6. 環境経営計画と評価	P6
・ 二酸化炭素削減	P7
・ 廃棄物削減、水使用量削減	P8
・ クレーム数 0、環境経営教育の実施、グリーン購入の推進	P9
・ 各事業所の取組評価	P10
7. 訓練	P11
8. 環境法規の遵守	P12
9. 代表者による見直し・指示	P13



株式会社 YMG ソリューションは、2010年9月に株式会社山五の通信ネットワークに関する技術サービス部門を切り出す形で設立され、以来10年以上にわたって、様々な通信ネットワークの構築や保守といった技術サービスをお客様に提供し、通信インフラの発展と共に成長を続けて参りました。

■ 重要な社会インフラの安定稼働を支えます

現代において必要不可欠な通信インフラは、新しい技術の採用や活用方法の進化・拡大によってその重要性は更に高まり、益々なくてはならない社会基盤となっていくものと考えています。

私たちは、その重要な社会基盤が ” いつでも ” ” どこでも ” ” 誰にでも ” 安心・安全に利用できるよう、現場の最前線で裏方として支え続けます。

■ 経営の根幹は「お客様&従業員ファースト」

当社の強みは、お客様のご要望に応じて小回りが利くきめ細かい技術サービスを提供できる点にあり、これを実現してくれる従業員と、当社の技術サービスをご用命いただいているお客様を第一に考えることを経営判断の根幹とし、従業員とお客様と共に発展し続けるための努力を続けて参ります。

株式会社 YMG ソリューション
代表取締役社長
谷口 淳一郎

2. 会社概要

-Company Overview-

(1) 名称及び代表者名

- 会社名 株式会社 YMG ソリューション
- 代表者名 代表取締役 谷口 淳一郎

(2) 所在地

- 本社 東京都港区東新橋 2-18-3 ルネパルティール汐留 501
- 中野営業所 東京都中野区 3-30-12 中野ソレイユ 505
- 福岡支店 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-4-23 第三岡部ビル 5F-3
- 北九州営業所 福岡県北九州市小倉北区古船場町 4-32-402
- 沖縄営業所 沖縄県豊見城市字我那覇 356 カサグランデ寿々 206

※事業体制として仙台支店が存在するが、客先常駐のため事業所は持たない。ただし、待機用のアパートが存在する(仙台アパート)

※本社には、仙台支店(仙台アパート)の人員やエネルギー使用量を含める。

※福岡支店には、上記所在地として扱わない大分三芳拠点と、待機用のアパートが存在する(福岡アパート)

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 土居 応拡
- 環境事務局 佐藤 智泉
- 連絡先 TEL : 03-6450-1717
URL : <https://www.ymg-sl.co.jp/>

(4) 事業内容

情報通信インフラの構築、保守にかかわるエンジニアリングサービス

(5) 事業の規模

- 設立 2010年9月1日
- 資本金 1,000万円
- 売上高 11億7,230万円(2024年8月期)
- 延床面積 392.02m² ※福岡アパートと大分三芳拠点を含む。
- 従業員数 63名(2024年8月現在) ※仙台支店の人員を含む。

(6) 事業年度

9月～8月

(7) 取得許認可

労働者派遣事業許可 : 派13-311037

(8) 取得認証

個人情報保護 (PMS)
JIS Q 15001



JQA-KP0010

情報セキュリティ (ISMS)
ISO/IEC 27001



JQA-IM1183

(9) 宣言

がん対策推進 企業アクション
◆推進パートナー



SECURITY ACTION
◆二つ星



セキュリティ対策自己宣言

環境経営方針

YMG ソリューションは、通信インフラの構築、保守に関するエンジニアリングサービスの提供を通じて環境負荷の低減に努め、サステナブルな社会の実現に貢献するため、次のような活動方針を掲げ、環境経営の継続的改善を実現します。

1. 事業活動に伴う環境影響を認識し、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物による環境影響を予防するため、以下の重点項目について継続的改善に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素の排出量削減
 - ② 廃棄物の適切な分別と排出量削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 従業員が自覚をもって環境経営活動に取り組むための教育の推進
 - ⑤ 提供するサービス品質を高めることで事故やクレームを削減
2. 環境関連法規などを遵守します。
3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知するとともに一般にも公開します。

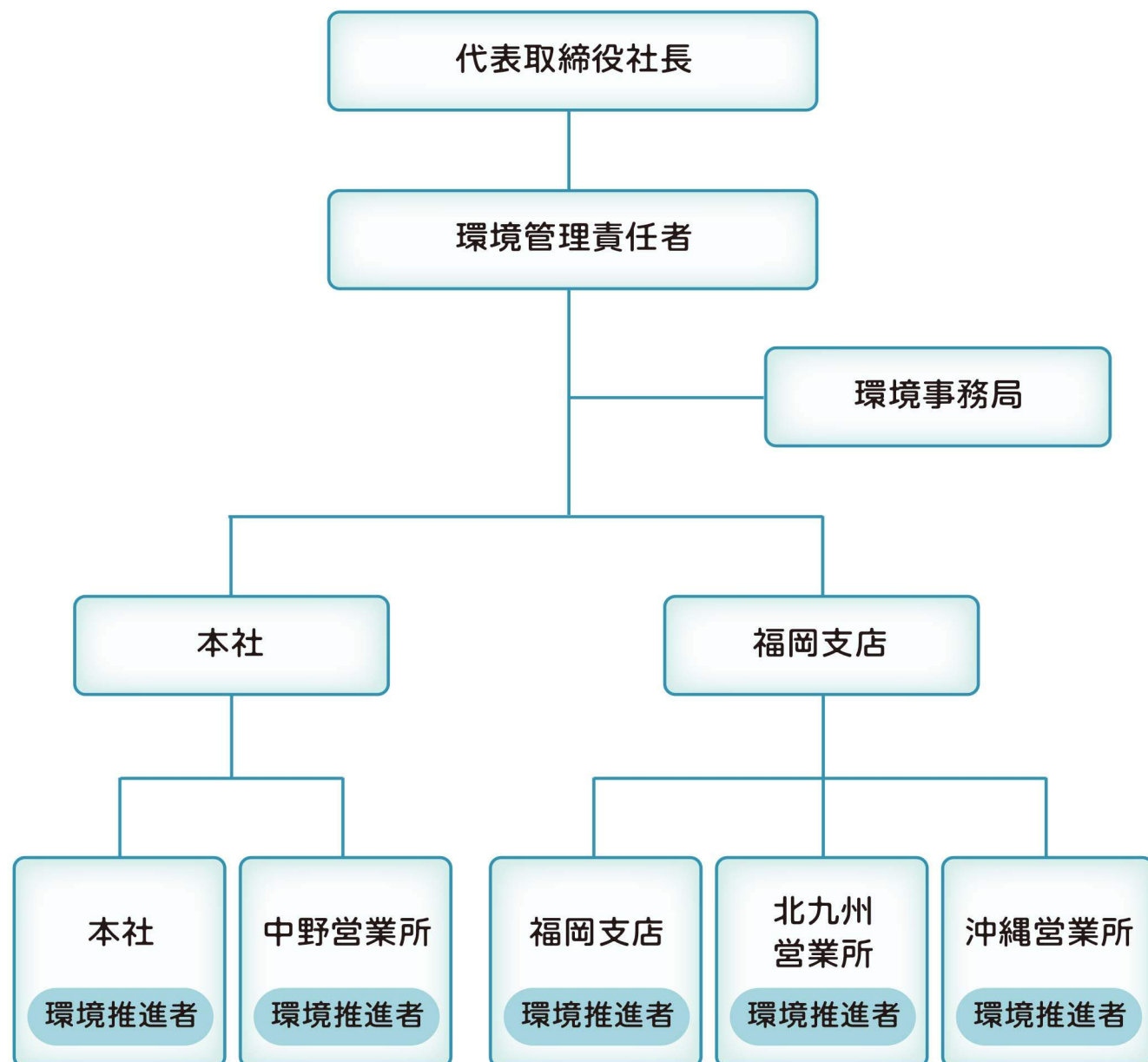
制定 2023年2月1日
改版 2024年4月15日

代表取締役 谷口淳一郎

4. 組織図

-Organization Chart-

組織図



役割・責任・権限

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンスの明確化 環境管理責任者の任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標・環境経営計画書の承認 全体の評価と見直し・指示の実施 環境経営レポートの承認 環境への取り組みを実施するために必要な人員、設備、費用等の準備
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 環境経営目標・環境経営計画書の確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーション 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境推進者	<ul style="list-style-type: none"> 環境事務局との連携および連絡窓口 各拠点・事業所における部門内従業員への環境への取り組みの推進 各拠点・事業所における EA21 の活動の管理、取りまとめの実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 問題点の発見、是正、予防処置 ルールの遵守、自主的・積極的な環境活動への取り組み

※本社には、対象人員として仙台支店の従業員を含みます。

※YMG ソリューションの環境経営は、全組織・全事業活動を対象範囲としています。

5. 環境経営目標と実績

-Environmental Policy, Organaization Chart-

環境経営目標と実績

2023 年度（運用期間）の全社の結果と中長期目標 ※運用期間：2024 年 6 月～ 8 月

■評価の見方

- …目標超過達成（目標値を大幅に上回り達成 / 限界値での達成）
- …目標達成（目標値の達成 / 伸びしろありでの達成）
- …目標未達

項目名	単位	2023 年度（運用期間）				中長期目標			
		2022 年度 基準値 (6月～8月)	目標値	実績値	評価	2022 年度 基準値	2024 年度	2025 年度	2026 年度
二酸化炭素削減	kg-CO2	13272.38	13006.94	11809.39		45234.21	43877.19	43424.85	42972.50
			-2.0%				-3.0%		
廃棄物削減	Kg	- ※1	-	230.95		1040.40 ※2	1009.19	998.78	988.38
			-2.0%				-3.0%		
水使用量の削減	m ³	223.00	218.54	217.00		805.00	780.85	772.80	764.75
			-2.0%				-3.0%		
クレーム数 0	件	0	0	0		0	0	0	0
			維持				維持		
環境経営教育の実施	回	0	1	1		0	1	1	1
			年 1 回以上				年 1 回以上		
グリーン購入の推進	品目	0	2	7		0	6	6	6
			2 品目以上				6 品目以上		

■ 二酸化炭素削減のうち、電力の二酸化炭素排出係数は 2022 年の調整後排出係数を採用しています。「残差」データが確認できない事業者もあるため、YMG では「(参考値) 事業者全体」を選択しています。

- ・ 本社 / 中野営業所 : 0.441 Kg-CO2/kWh (東京電力エナジーパートナー株式会社)
- ・ 仙台支店 (仙台アパート) : 0.457 Kg-CO2/kWh (東北電力株式会社)
- ・ 福岡支店 / 福岡アパート / 大分三芳拠点 / 北九州営業所 : 0.479 Kg-CO2/kWh (九州電力株式会社)
- ・ 沖縄営業所 : 0.705 Kg-CO2/kWh (沖縄電力株式会社)

※1 廃棄物削減について、2022 年度は 8 月のみしか計測できていないため、基準値はありません。

※2 中長期目標である 2024 年度以降は 2023 年度の実績値データを基準値とする予定です。

6. 環境経営計画と評価

-Environmental Management Plan-

運用期間の評価

環境経営目標の達成に向けて、YMG では下記の環境経営計画を策定し、取り組んでいます。

■評価の見方（各事業所の評価を基に算出）

- ◎…対象の 8 割以上の事業所で◎または○
- …対象の 5 割以上の事業所で◎または○
- △…対象の 3 割以上の事業所で◎または○
- ×…◎または○になる対象の事業所が 3 割未満

項目名	主な取組内容	全社としての評価	次年度への取り組み
二酸化炭素削減	※以下(1)～(5)に対する取組内容を参照		<p>いずれも継続</p> <p>※運用期間中は産業廃棄物が発生しないため目標を設定していませんでしたが、2024年度は産業廃棄物に対する目標・計画も設定します。</p>
(1) 電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しない部屋の消灯、外出時・休憩時の消灯 ・利用しない電化製品の電源オフ ・適正温度管理（夏：27℃以上 / 冬：21℃以下） 	◎	
(2) ガソリン燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車前の点検、定期点検の実施 ・急ブレーキ、急発進、急加速をしない ・クリーブ現象やエンジブレーキの活用 ・タイヤ空気圧の測定（毎月） 	○	
(3) 軽油燃費の向上			
(4) 都市ガス使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス節約の掲示 ・ガス給湯器を常時 ON にしない ・夏場など温水不使用時は給湯器を OFF にする 	◎	
(5) LPG 使用量の削減			
廃棄物削減	※以下(1)～(3)に対する取組内容を参照		
(1) 可燃ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な分別廃棄の掲示 ・資源ごみを可能な限り分別 ・排出量の計測 ・マイカップやマイ箸、エコバックを利用する 	○	
(2) 不燃ごみ			
(3) 資源ごみ			
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の掲示、水道はこまめに止め、閉め忘れない ・洗剤の適量使用 / 生ごみや油を排水口に流さない ・トイレの利用時も節水を意識する 	◎	
クレーム数 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例を提出する ・安全パトロールを実施する 	△	
環境経営教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員への環境教育の実施 	◎	
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具の購入時はグリーン購入を心掛ける 	△	

6. 環境経営計画と評価

-Environmental Management Plan-

二酸化炭素削減

二酸化炭素削減に向けた活動として、以下3つの項目を中心に取り組んでいます。

(1) 電気の使用量削減

■対象：全拠点

- ・利用しない部屋の照明はつけない。
- ・外出する時などはこまめに照明を消す。
- ・昼休みなどの休憩時間は、極力消灯する。
- ・変更が可能な場合はLED照明に変更する。
- ・照度に問題がない場合は照明を間引きする。
- ・エアコンの設定温度を調整し、室内温度を適温に管理する。
- ・エアコンのフィルターはこまめに掃除する。
- ・利用しない電化製品の電源は消す。
- ・節電を意識するために、照明やエアコンのスイッチの近くに節電の掲示をする。

節電掲示（仙台アパート）→
スイッチにも。



↑ 節電掲示（大分三芳拠点）
エアコン設定温度も。



↑ 節電掲示（本社）
おしゃれ〜。



← 節電掲示（沖縄営業所）
かわいい！

(3) ガソリンの使用量削減、燃費向上

■対象：車の利用がある拠点

- ・乗車前の点検や、定期点検をしっかり行う。
- ・急ブレーキや急発進、急加速をしない。
- ・タイヤの空気圧を適正に保つ。
- ・不要な荷物を積まない。
- ・エアコンの使用時は温度を下げすぎない。
- ・必要以上の洗車をしない。（※水使用量削減）
- ・発進時、停止時はクリープ現象やエンジンブレーキを活用する。



私たちの
おもい

YMG ソリューションは業種柄、二酸化炭素の総排出量は多くはありませんが「まずはできることから」の精神で、各事業所で小さな取り組みを積み重ねています。

- Do what we can right now -

(2) ガスの使用量削減（都市ガス、LPG）

■対象：ガス利用のある拠点

- ・給湯器のスイッチは必要な時のみONにし、常時ONのままにしない。
- ・夏場など温水を利用する必要がない場合は、給湯器のスイッチをOFFにする。
- ・ガスの節約を意識するために、給湯器スイッチの近くに節ガスの掲示をする。



↑ 節ガス掲示（沖縄営業所）
沖縄の掲示はかわいいのです。



↑ 節ガス掲示（中野営業所）
シンプルズベスト。

6. 環境経営計画と評価

-Environmental Management Plan-

廃棄物削減

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

廃棄物排出量の削減に向けた活動として、以下の内容に取り組んでいます。

ごみの排出量削減

■対象：全拠点

- ・事業所から排出されるごみを、ごみの種類ごとに計測し、排出量を記録する。
- ・プラスチックごみや古紙など、リサイクルが可能なものはしっかり分別する。
- ・不要なコピー、印刷をしない。
- ・紙コップや割りばしを利用せず、マイカップやマイ箸を使う。
- ・発送や梱包の際は、過剰にならないよう気を付ける。
- ・消耗品は可能であれば詰め替えのものを購入する。
- ・一般ごみと資源ごみを適切に分別できるよう、ごみ箱に分別廃棄の掲示をする。

分別廃棄掲示（大分三芳拠点）→
分かりやすいアイコン。



↓ 分別廃棄掲示（本社）
某有名いらすが
良い仕事してます。



↑ 分別廃棄掲示（福岡支店）
大事なことなので2回言います。



水使用量の削減

14 海の豊かさを
守ろう

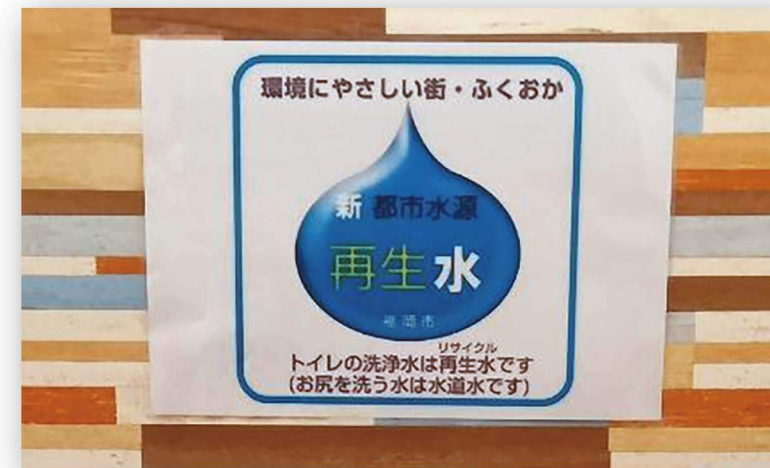
水使用量の削減に向けた活動として、以下の内容に取り組んでいます。

■対象：全拠点

水の使用量削減、適正な排水

- ・蛇口はしっかりしめる。
- ・洗い物をする時は水を出しっぱなしにせずこまめに止める。
- ・洗い物をする時は必要以上の洗剤を使わない。
- ・トイレの大小レバーを適切に使い分ける。
- ・生ごみや油などを、そのまま排水口に流さない。
- ・節水を意識するために洗面所や台所、トイレなどに節水の掲示をする。

← 節水掲示（福岡アパート）
お尻のお水は水道水なので安心。



節水掲示（北九州営業所）→
シンプルズベストその2。



6. 環境経営計画と評価

-Environmental Management Plan-

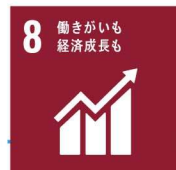
クレーム数 0、環境経営教育の実施、グリーン購入の推進

その他の環境経営に関する活動として、以下 3 つの項目に取り組んでいます。

クレーム数 0 (サービス品質の向上)

■対象：全拠点 ※一部を除く

- ・ヒヤリハット事例を毎月提出する。
- ・安全パトロールを実施する。



- ▶ ヒヤリハット…合計 97 件提出しました。
 - ・2024 年 6 月：38 件
 - ・2024 年 7 月：29 件
 - ・2024 年 8 月：30 件
- ▶ 安全パトロール…事業所によっては実施できない月もありましたが可能な範囲で実施するよう努めました。

■安全パトロールとは？

代表者や管理者が現場に赴き、正しい手順で安全な作業ができていないか、違反は行っていないかなどを確認するパトロールです。工場等で行う安全パトロールと内容は少し違うかもしれませんが、安全確保や事故防止のために行うという点では同じ活動になります。

グリーン購入の推進

■対象：全拠点

- ・文房具等の消耗品を購入する時は、環境に配慮した製品の購入を心掛ける。



- ▶ 消耗品等の購入があったほとんどの事業所でグリーン購入を行いました。また、環境ラベルのない製品でも環境に配慮した製品を選択するよう努めました。グリーン購入対象商品は一般商品よりも高額であることが多いため、値段や必要性を考慮した上で購入するようにしています。

■対象：全拠点 (全従業員)

環境経営教育の実施

- ・環境事務局または関係各所から教育の指示があった場合、期日内に実施するようにする。

- ▶ 全従業員を対象にキックオフ教育を実施しました。
 - ・2024 年 5 月～6 月実施
 - ・対象者 59 名 (休暇中 / 出向中の従業員を除く)



ポイント

EA21 や環境経営の内容をまとめた「EMS ハンドブック」を作成し、全従業員へ配布しています。発行は中長期目標の 3 年毎または大きな変更が生じた時期に予定。

新入社員にもこのハンドブックを用いて入場時教育を行っています。

6. 環境経営計画と評価

-Environmental Management Plan-

各事業所の詳細

各取組に対する、各事業所の詳細結果をまとめました。

■評価の見方（各事業所の環境推進者の評価を基に算出）

- ◎…3 か月すべての月で実施 / 実施可能な月すべてで実施
- …1 か月実施できない月があった / 実施可能な月の半分以上で実施
- △…2 か月実施できない月があった / 実施可能な月では実施できなかった
- ×…3 か月すべての月で実施できなかった
- …対象外 / 実施可能な月がなかった

項目名	主な取組内容	本社		中野営業所	福岡支店			北九州営業所	沖縄営業所
		本社	仙台支店 (仙台アパート)		福岡支店	福岡アパート	大分三芳拠点		
二酸化炭素削減	※以下(1)～(5)に対する取組内容を参照								
(1) 電力使用量の削減	・利用しない部屋の消灯、外出時・休憩時の消灯 ・利用しない電化製品の電源オフ ・適正温度管理（夏：27℃以上 / 冬：21℃以下）	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	◎
(2) ガソリン燃費の向上	・乗車前の点検、定期点検の実施 ・急ブレーキ、急発進、急加速をしない ・クリープ現象やエンジンブレーキの活用 ・タイヤ空気圧の測定（毎月）	△	◎	-	△	-	◎	◎	◎
(3) 軽油燃費の向上									
(4) 都市ガス使用量の削減	・ガス節約の掲示 ・ガス給湯器を常時 ON にしない ・夏場など温水不使用时は給湯器を OFF にする	-	◎	◎	-	-	×	○	◎
(5) LPG 使用量の削減									
廃棄物削減	※以下(1)～(3)に対する取組内容を参照								
(1) 可燃ごみ	・適正な分別廃棄の掲示 ・資源ごみを可能な限り分別 ・排出量の計測 ・マイカップやマイ箸、エコバックを利用する	◎	◎	◎	△	-	△	◎	◎
(2) 不燃ごみ									
(3) 資源ごみ									
水使用量の削減	・節水の掲示、水道はこまめに止め、閉め忘れない ・洗剤の適量使用 / 生ごみや油を排水口に流さない ・トイレの利用時も節水を意識する	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
クレーム数 0	・ヒヤリハット事例を提出する ・安全パトロールを実施する	○	×	△	×	-	-	×	◎
環境経営教育の実施	・全従業員への環境教育の実施	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎
グリーン購入の推進	・文房具の購入時はグリーン購入を心掛ける	△	◎	△	○	-	-	△	-

7. 緊急事態の訓練

-Emergency Drill-

安否確認試験

地震や火災等、自然災害を含む有事に備え、人財である従業員の安否を迅速に把握するために安否確認試験を実施しています。

- ▶ 全従業員を対象に実施しました。
 - ・ 2024年6月実施
 - ・ 対象者64名（休職中の従業員を除く）

ポイント

YMGとして、2013年からこれまで通算16回の安否確認試験を実施してきました。2022年には自社システムを取り入れ、試験後は課題点の改良を図るなど様々な工夫を行っています。2024年元旦に発生した能登半島地震など、実際の有事の際にもツールを活用し、スムーズに安否確認を実施するなどコミュニケーションの1つとして有用なツールとなっています。

安否確認試験の実施は、従業員への意識付けを含め、着実に有効性を高めることができていると評価しています。

防災・消防訓練への参加

各事業所や地域で実施される防災・消防訓練にも積極的に参加しています。

- ▶ 福岡支店
 - ・ 2024年4月実施（※運用期間外 / 参考）
 - ・ 参加者2名
 - ・ テナントビル実施による防災訓練
避難経路（非常階段）の確認等を実施
配布資料は掲示し、支店内に共有
- ▶ 本社
 - ・ 2024年4月実施（※運用期間外 / 参考）
 - ・ 参加者7名
 - ・ 地域主催による防災訓練「東京防災 in 汐留」
警察署や消防署協力の元、下記を体験 / 参加
 - AED体験
 - 濃煙体験
 - 放水体験
 - VR防災体験車
 - 消火器体験
 - 消防士による救出実演

予防策・対応手順に基づく訓練

策定した予防策や対応手順に基づき、机上訓練を中心に実施しています。

- ▶ 全ての事業所で実施しました。
 - ・ 2024年8月実施
 - ・ 参加者：参加可能な従業員
※実施結果は事業所内全員に水平展開

ポイント

初めての実施でしたが、環境推進者を中心に各事業所の環境に合わせて訓練を実施しました。机上訓練をメインに、可能な限り現地・現物確認も行っています。

環境や規模がそれぞれ違うため、策定したルールだけでは戸惑う部分もありましたが、各事業所で工夫して対応しました。また、事業所独自に防災関連の動画を視聴するなど、能動的に取り組む事業所もありました。

↓ 防災訓練の様子（本社） ↓



↑ 社長（中央）も率先して参加しています。



↑ 会長の反射神経年齢は、？



↑ 濃煙テント体験。煙がすごい。



↑ みんなで「もやい結び」を学びます。 - 11 -



8. 環境関連法規の遵守状況の評価

-Legal Compliance-

確認及び評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
また、関係当局からの違反等の指摘や訴訟はありません。
主な環境関連法規は以下の通りです。

名称	関連する事業活動	関連する事業所	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 / 産業廃棄物の廃棄	本社、中野営業所、 福岡支店、北九州営業所、沖縄営業所	○
家電リサイクル法	家電 4 品目の処分	全事業所	○
小型家電リサイクル法	小型家電の処分	全事業所	○
自動車リサイクル法	社用車の廃棄	本社	○
グリーン購入法	備品の購入	全事業所	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	備品の利用と廃棄	全事業所	○
自動車 NOx・PM 法	保有社用車、社用車の新規購入	本社	○
道路交通法	運転者、社用車	本社、仙台支店、福岡支店、北九州営業所、 大分三芳拠点、沖縄営業所	○
各都道府県条例	各条例による	各事業所	○

9. 代表者による見直し・指示

各項目の評価と見直し

1. 環境経営方針 ■変更の必要性：不要	社内外において、大きな環境変化がないため方針の見直し不要。
2. 環境経営目標及び環境経営計画 ■変更の必要性：要	ガソリン・軽油については、業務の繁閑により使用量が変動するため、業務用車両の燃費を把握するよう変更すべき。また、クレーム0に向けた施策としている安全パトロールについては、対象部門を限定する形に見直したい。 また、運用期間中は産廃が出ないことが分かっていたため産廃の目標値は設けなかったが、2024年度以降は産廃の排出も見込まれるため、新たに目標値を設定する。
3. 実施体制 ■変更の必要性：不要	組織や在籍人員に大きな変更がないため見直し不要。
4. 課題とチャンス ■変更の必要性：不要	社内外において、大きな環境変化がないため方針の見直し不要。
5. その他 ■変更の必要性：不要	その他の項目について見直しは不要。

総評

EA21 認証取得に向けた運用期間としては、概ね良好な活動結果が得られたと判断する。
この結果を基に本格的な活動を開始し、継続的改善が図れるようブラッシュアップしていけるよう PDCA サイクルを適正に回していきたい。